



なんでも進んで学ぶ子ども

ひとと仲よく助け合う子ども

がまん強くやり抜く子ども

さわやかな笑顔の元気な子ども

2025年5月号

(文責：校長 舟木志郎)

おごよい班(縦割り班) 出発式



縦割り班を「おごよい班」と言っています。1年生から6年生が20の班に分かれ、同じ班にいる同級生は1人～2人、10人程度の班です。学年を越えて、活動や清掃作業に取り組みます。「おごよいスマイル委員会」が内容を企画し、挨拶やゲームをして交流しました。上級生は下級生を見守り、作業のやり方など、いろいろなことを教えていきます。

■1年生を迎える会(4/18)■

この会は、1年生を全校で迎え楽しいひと時を過ごすだけではなく、6年生にとって、初めて全校のリーダーとして会を企画・運営する場でもあります。「こんなことをしたら楽しいのでは?」「こういうことがあると、1年生も嬉しいのでは?」と、みんなのことをあれこれ考えプログラムを作り、会の進行も役割を分担して行いました。はじめは6年生に手をひかれていた時も緊張していた1年生も、終わりにはずいぶんリラックスした笑顔で退場しました。



をあれこれ考えプログラムを作り、会の進行も役割を分担して行いました。はじめは6年生に手をひかれていた時も緊張していた1年生も、終わりにはずいぶんリラックスした笑顔で退場しました。

■ぶら下がる■

体育の授業の一コマです。低学年にとって「ぶら下がり」も大変で、立派な鉄棒の技です。頑張って取り組んでいました。



■学校図書館■

学校図書館の入り口に「ホンリーとしょかん」と掲げられています。学校司書の職員に意味合いを訪ねると、「ホンリーくん」と「ヨムリーちゃん」の愛称のマスコットがいるそうです。図書館



の中に掲示もしてありました。ちなみにこの掲示は、昨年度の卒業生が作ってくれたそうです。

長久小学校の学校図書館には、市費等の購入図書以外にも、岩谷様より毎年ご寄付をいただき、「岩谷文庫」として3,000冊を超える図書を購入しました。昭和31年から続いてご寄付をいただいております。子どもたちの読書活動に生かしています。

■『みつばちの会』・読み語り■

地域の方が読み語りのボランティアグループを作られて、週に2日、朝活動の時間に読み語りに来てくださいます。



子どもたちも楽しみにしており、ワクワク・ドキドキしながらお話の世界に入っています。

ボランティアの方にお礼を伝えると、「自分たちこそ、子どもたちから元気もらっています」と返されました。

子どもたちの明るい元気な挨拶や素直にワクワク・ドキドキする姿は、「地域の大人を元気にする」と言われます。挨拶することや素直に感動することなど、生活面での学びや行動力を一層高めていきたいと思います。

■児童会のスローガン■



児童総会を開き、各委員から生活目標などの発表の後、6年生が中心となって決めた、今年のスローガンの発表がありました。「ドリーム～一人一人が夢や目標を持って生活しよう～」です。

小学校の段階では、学習習慣や学習の内容、生活面や行動面で身につけるべきこと、考えてできるようになること、考えや思いを伝えあえるようになること、など、多くの学びがあります。一人ひとりが目標をもって、さらにその先の夢を目指して取り組む頑張りを、職員でしっかり支えていきたいと思っています。

■じょうずに食べました■

給食でカレーのから揚げが出ました。1年生も身と骨の分け方の説明を聞いて、取り分けて食べていました。検食で先に食べた私は頭からかぶりついてしまっていたので、子どもたちの丁寧な食べ方を見て少し反省もしました。

みんなと食を囲むとき、その時その場の「マナー」が生まれます。集団生活の学校の中で、身につけさせたい内容の一つです。



■沈思黙考、ワイガヤ意見だし■



金属製のパズルや「はあっていうゲーム」・物語づくりサイコロなどを校長室に持ってきました。業間や昼休み、子どもたちが遊びに来てパズルに挑戦したり、ゲームで歓声をあげたりしています。

パズルは必ず答えにたどり着きます。我慢強く・粘り強く考え、あれこれ操作を繰り返すと必ず解けます。こういう時の思考は「沈思黙考」型です。カードゲームや物語づくりの時は、一人で考える場面もありますが、あれこれ言ってみる、考えをたくさん出す「ワイガヤ」型です。

学校での授業にもこの2つの場面が登場します。「身につける」「習得する」などのようなときは、沈思黙考型が中心となりますし、「考えを広げる」「多様な価値に触れる」場面ではワイガヤ型となります。教員は、これらの「思考・活動の姿」を場面ごとに使い分けて指導しています。また、授業づくりにおいて、「授業の中で『個別最適な学び』の成果を『協働的な学び』に生かし、更にその成果を『個別最適な学び』に還元するなど、『個別最適な学び』と『協働的な学び』を一体的に充実し、『主体的・対話的で深い学び』の実現に向けた授業改善の方向が示され（「令和の日本型学校教育」の構築を目指して R3年・中教審）、授業改善に取り組んでいます。個別の学びの中にも、協働的な学びの中にも、2つの学びの姿を組み入れる必要がありますし、子ども自身にも使い分ける力を育てていくことを目指しています。

一部の画像は鮮明度を加工しています

ご意見感想をお寄せください mail : to-nagahisas51@ed.iwamigin.jp
学校 HP にも掲載しています

大田市立長久小学校

検索